

VI 智恵の「都」をつくる 19 教育の振興

(96) 実学教育の充実、インターンシップの推進

これまでは

地域の質の高い職業人材の育成に取り組んできました。

- 地域の企業との協力と連携
 - ・地元企業(DMG森精機(株))の協力を得て、県立工業系高校での実学教育の展開
 - ・地元企業と連携した人材育成プログラムを実施



奈良県とDMG森精機からの加工機導入セミナー

有給インターンシップの仕組みの構築を図ってきました。

- 無料職業紹介事業を開始、推進校の指定
- 高校と地元企業・保育所・施設間での有給インターンシップのマッチング、試行での実施

もっと良くするために

職業と直結する実学教育の充実を図ります。

- 県内高大接続**
県立奈良商工高校、王寺工業高校、御所実業高校は、県立大学工学系新学部との接続の仕方を検討
- フォレスターアカデミー** (322百万円) [債務負担行為150百万円]
吉野高校を活用したアカデミーの整備・運営
- NAFIC** (なら食と農の魅力創造国際大学校) (165百万円)
新たなカリキュラムの導入による、進路に応じた「食」と「農」の担い手を育成
- 職業訓練校**(県立高等技術専門校) (436百万円)
- 看護師等養成** (146百万円)
- 保育士養成**
- 県立高校での有給インターンシップ** (22百万円)
インターンシップコーディネーター等を継続配置

離職した人、転職希望の人の県内での職業訓練の場を提供します。

令和3年度予算案 1,091百万円 [債務負担行為150百万円]

R3予算案 1,090,557千円 [債務負担行為 149,938千円]

- より実社会で生きる知識・技能を身に付け、「社会で役立つ“実”」と「“学”校」を結びつける教育の展開
- 地方創生を具現化する、奈良県企業及び地域社会と協働した、「質の高い職業人」の育成
- 奈良県の産業・地域を支える地域人材の育成

- ①実業系県立高校と県立大学工学系新学部との**高大接続のあり方を検討**
- ②吉野高校を活用し、森林環境の維持向上に関する専門的知識や技能を持ったフォレスターを育成する**フォレスターアカデミーを整備・運営** (322,322千円、R4債務負担行為 149,938千円)
- ③農業経営や農業技術、飲食業経営や調理技術等に関する実践的な能力の習得を目指す**なら食と農の魅力創造国際大学校(NAFIC)の運営** (164,373千円)
- ④高等技術専門校における職業訓練・就業支援及び民間教育訓練施設等を活用した職業訓練の実施 (436,156千円)
- ⑤看護師等修学資金の貸付や看護師等養成所の運営支援等による看護師等の養成 (145,389千円)
- ⑥県立高校こども・福祉科等におけるこども学・保育学教育を通じた保育士の養成
- ⑦**県立高校での有給インターンシップ** (22,317千円)
 - ・キャリアサポートセンターにインターンシップコーディネーター等を配置し、就業実習や就労支援を実施
 - ・学校での座学と企業実習を組み合わせ合わせた教育等により実学教育を充実し、実践力を向上



連携協定企業等と協働した人材育成

<問い合わせ先>

教育委員会事務局
文化・教育・くらし創造部
水循環・森林・景観環境部
食と農の振興部
産業・観光・雇用振興部
医療政策局

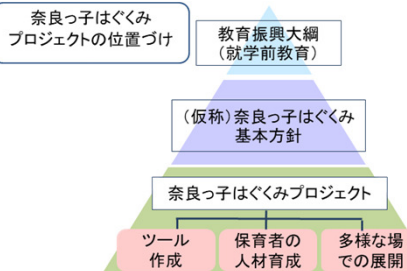
- ①⑥⑦ 学校教育課 山本主幹(内線5253)
- ①教育振興課 山口課長補佐(内線2576)
- ②森と人の共生推進室 藤平室長補佐(内線3992)
- ③豊かな食と農の振興課 我妻課長補佐(内線3818)
- ④雇用政策課 藤田課長補佐(内線3571)
- ⑤医師・看護師確保対策室 永田室長補佐(内線3195)

VI 智恵の「都」をつくる 19 教育の振興

(97) 就学前教育の充実

これまでは

知事が策定する教育振興大綱で、**就学前教育の主たる目的を「神経や筋肉の成長を大きく促す」、「自尊心や利他心といった非認知能力」をはぐくむことを挙げ**ました。



施設類型に関わらず、すべての施設において質の高い就学前教育を実施するため、**就学前教育プログラム「はばたくなら」を策定し、普及を進めています。**

もっと良くするために

(新)「(仮称)奈良っ子はぐくみ基本方針」を策定し、就学前教育の理念と展開方策について、共通の意識を持つようにします。

- ・健やかなところと身体をはぐくむ環境、はぐくみの方針を確立
- ・保育所や幼稚園等におけるはぐくみの実践方策を提示

多様な場ではぐくみを展開します。

- ・まほろば健康パークの機能強化 (17百万円)
- ・なら歴史芸術文化村における創造性や表現力をはぐくむ幼児向けアートプログラムの展開 (3百万円)
- ・こども食堂の拡充 (5百万円)

保育人材の育成に力を入れるとともに、働きやすい職場づくりを支援します。

- 幼保共通実践ツールの作成・普及 (5百万円)**
 - ・「はばたくなら」実践事例集及び漫画で解説した啓発誌「はばたきの詩」の発行
 - ・幼児向け運動・スポーツプログラムの普及
- 保育者の人材育成 (23百万円)**
 - ・施設類型を越えた一体的な研修の実施、就学前教育の質の向上を推進する地域リーダーの育成
 - ・キャリアパスに基づく体系的な研修実施
- 保育士の働き方改革の推進 (9百万円)**
 - ・**(新)保育現場の労働環境の課題を把握・整理し、業務改善マニュアルを作成**
 - ・保育補助者等の活用による保育士の負担軽減支援

令和3年度予算案 62百万円

R3予算案 62,367千円

就学前教育に関する基本方針の策定

- ① **(新) 就学前教育の理念と展開方策について関係者全員で共通意識を持つため、「(仮称)奈良っ子はぐくみ基本方針」を策定** (82千円)

「奈良っ子はぐくみプロジェクト」の展開

保育人材の育成と働きやすい職場づくりの支援

- ②奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」の実践事例や活用方法を掲載した事例集を作成 (87千円)
- ③保育士養成施設等の学生や、保育所等に勤務する職員等向けに、「はばたくなら」を漫画等により解説した啓発誌を配布 (4,803千円)
- ④「幼児向け運動・スポーツプログラム」の普及促進のため、幼稚園・保育所の保育者を対象とする研修会を実施 (146千円)
- ⑤就学前教育の質の向上に向けた研修等の実施 (16,820千円)
- ・施設類型を越えた一体的な研修の実施
 - ・就学前教育の質の向上を推進する地域リーダーの育成
- ⑥保育士のキャリアパスに基づく体系的な研修の実施 (6,798千円)
- ⑦**保育士の働き方改革の推進** (8,931千円)
- ・**(新) 保育現場の労働環境の課題を把握・整理し、業務改善マニュアルを作成**
 - ・保育補助者等の活用による保育士の負担軽減支援



遊びを通じた活用事例の様子

多様な場ではぐくみの展開

- ⑧まほろば健康パークの機能強化 (17,000千円)
- ・「子どもが憩い楽しみ、遊びや運動を通して成長する公園」を目指した機能強化の検討
- ⑨なら歴史芸術文化村(令和4年3月開村予定)での幼児向けアートプログラムの展開 (3,000千円)
- ・プレイベント(ワークショップ、講演会等)開催
 - ・**(新) なら歴史芸術文化村でのプログラム展開**
- ⑩こども食堂の機能拡充 (4,700千円)
- ・**(新) こども食堂等による子どもへのやさしさあふれる地域づくりの推進**
 - ・県こども食堂コーディネーターによる支援



弁当を作る「こども食堂」の様子

<問い合わせ先>

文化・教育・くらし創造部 ⑨なら歴史芸術文化村整備推進室 中西室長補佐(内線2510)、④スポーツ振興課 中川主幹(内線5272)
 こども・女性局 ①③⑥⑦奈良っ子はぐくみ課 吉田課長補佐(内線2885)、⑩こども家庭課 中川課長補佐(内線2871)
 地域デザイン推進局 ⑧公園緑地課 西城主幹(内線4327) 教育委員会事務局 ②⑤教育研究所 長谷川部長(0744-33-8902)

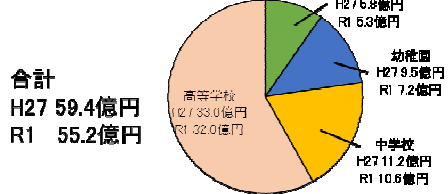
VI 智恵の「都」をつくる 19 教育の振興

(98) 私学の振興

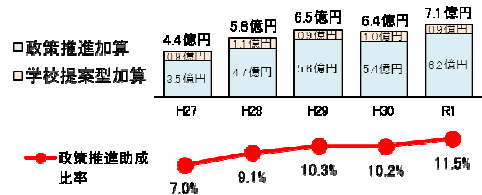
これまでは

本県で私学は大きな役割を果たしていますので、私立学校の運営費に対して補助を行ってきました。

〔運営費〕は、各学校の「生徒割」、「教職員割」、「学校割」などの基本的な数値に基づく配分です。



私学教育の質の向上のための「政策推進助成制度」を導入し、その拡充を図ってきました。



もっと良くするために

私学に対しては、運営費補助の他、様々な補助制度(カウンセラーの配置、授業料等の軽減)の活用により、**教育の質の向上**を図ります。

- **学費負担者への授業料等補助**は、令和2年度から授業料に加え、施設整備費等も対象とし、補助額を拡大しています。(非課税世帯の場合、最大57万円)

令和3年度から始まる**第2期教育振興大綱**を推進するため、政策推進助成項目を見直し、引き続き、**10%程度を維持し**、取組件数の増加、取組内容の充実を図ります。

政策推進助成(10%程度)	学校提案型支援加算 (特色ある取組が採択され、審査委員会が採択)	取組を実施しない学校、または採択されなかった学校は加算なし
	政策推進加算 (県が私学に求める項目について具体的な取組を実施した場合)	取組をしない学校は加算なし

令和3年度予算案 9,799百万円

R3予算案 9,799,383千円

私立学校に対する運営費補助(経常費補助)

(6,164,703千円)

- 公教育の一翼を担う私立学校に対し、教育条件の維持向上や、学校経営の健全性の向上を図るため、私立学校の経常的な経費に対して補助
(高等学校16校、中等教育学校1校、中学校10校、小学校6校、幼稚園31園)

- 県の教育課題の解決に積極的に取り組む学校に対しては補助を加算し、
● **各学校の特色のある取組を支援**

- **(新) 私学助成による本県教育の振興等への効果分析手法を検討**

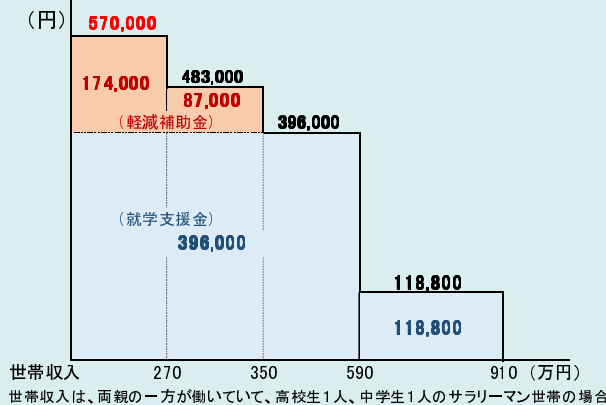


学校の特色ある取組(国際化推進)

私立高校等授業料等に対する支援

(3,634,680千円)

家庭の経済事情のために進学を諦めることのないよう、私立学校に通う学費負担者に対して授業料等を補助(授業料・施設整備費等を合わせて**最大57万円まで**補助)



- 私立高等学校等就学支援金により、全国私立高校の平均授業料を勘案した水準(39万6千円)まで支援

- さらに、私立高等学校授業料軽減補助金により、低所得者世帯の方については、補助対象に施設整備費等も加えて、
● 県独自の補助金(最大17万4千円)を支給

<問い合わせ先>

文化・教育・くらし創造部 教育振興課 山口課長補佐(内線2576)

VI 智恵の「都」をつくる 19 教育の振興

(99) 教育ICTの推進

これまでの

Society5.0時代に対応するためには、児童生徒、教員双方のICT活用能力を向上させる必要があります。そのためには①ICT教育環境整備、②ICTを有効に活用できる指導者養成といった課題があります。それらを十分な水準とするため、次の取組を進めてきました。

教育ICT環境の改善

- 県域統一ドメインで1人1アカウント環境を構築しました。
- 教育用端末の県域共同調達を行い、1人1台での活用が始まっています。
- 支援が必要な児童生徒用の入出力支援装置を整備しました。
- 県立学校インターネット回線及び校内LANの高速大容量化を行いました。
- 県域で利用できる統合型校務支援システムを構築しました。

教員のICT活用指導力向上

- 1人1台環境に対応した教育を行うための教員研修を開催しています。
- 研修リーダーとなる人材の育成を行っています。

もっと良くするために

これからデジタル社会を生きてゆく子どもたちにICTを活用した教育は不可欠です。奈良県のICT活用教育の底上げを図るため、全力を尽くします。

令和7年度までの目標

- ① ICTを活用した学習活動を行う学校 → 100%
- ② 教員のICT活用指導力(教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力) → 90%

GIGAスクール構想の推進(38百万円)

1人1アカウントの環境で、子どもたち1人1人に公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現へ向け、GIGAスクール構想を推進します。

- ・ 県立学校校務用インターネット回線増強
- ・ モバイルルータ貸与
- ・ 入出力支援装置の市町村立学校への貸し出し

県域教育情報化の推進(148百万円)

教育・校務の情報化を支えるとともに、質の高い教育を実現させるための教員研修を充実させます。

- ・ 県域統合型校務支援システム導入支援
- ・ 学習カルテ開発(中高連携)
- ・ プログラミング的思考を含む、情報活用能力を高めるための教員研修を充実

児童生徒への情報教育の充実(323百万円)

情報活用能力を向上させる学習活動やデジタルシティズンシップ教育を充実させます。

令和3年度予算案 509百万円

R3予算案 508,863千円

教員の資質向上

○ 統合型校務支援システムの市町村立学校における導入を支援 (5,250千円)

○ 市町村立中学校と県立高校間でデータ(学習カルテ)を連携 (7,273千円)

○ ICTを活用して情報化を推進する教員リーダー(STEAM教育エバンジェリスト)の育成 (477千円)

○ 統合型校務支援システムの運用 (134,531千円)



- ・ 教員のICT活用指導力の向上
- ・ 不登校・長期欠席児童生徒への対応の強化
- ・ 授業の情報化

児童生徒への情報教育の充実

○ ICT機器を活用した学習内容の充実 (323,757千円)

- ・ 情報端末や電子黒板、教育用クラウド等を活用した授業の実施



- ・ 奈良南高校 情報科・専攻科、宇陀高校(R4開校)情報科学科にPCを設置

○ 情報モラル(SNSの利用等)の指導

- ・ 情報活用能力の向上
- ・ 論理的思考力の向上
- ・ 自己の意見を表明する能力の向上
- ・ 情報リテラシーの習得

学校ICT環境の整備

○ 高速インターネット回線の運用 (12,785千円)

○ 家庭学習用モバイルルータの整備・貸与 (1,468千円)

○ 中山間地域の県立高校(奈良南・十津川・宇陀)において、生徒の多様な進路希望等に応じた教育を実現するためのモデル事業を実施 (23,322千円)

- ・ ICTを活用した双方向型の遠隔授業
- ・ 地元自治体等の関係機関との連携の構築

- ・ 個別最適化された学びの実現
- ・ 地域や環境格差のない学びの実現
- ・ 学びの可視化
- ・ 在宅教育の実現

<問い合わせ先> 教育委員会事務局 教育研究所 倉田部長・小崎主幹 (0744-33-8907)

VI 智恵の「都」をつくる 19 教育の振興 (100) 第2期奈良県教育振興大綱の推進

これまでは

教育における地方分権の一環として、知事が教育の振興に関する総合的な施策の大綱を定められるようになりました。令和3年2月の県議会で報告します。

【教育施策の基本方針】

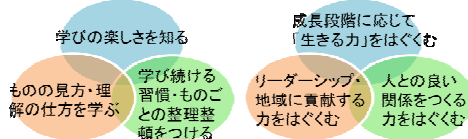
1. ことごとと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ
就学前教育、ことごとと身体のはぐくみ 等
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ
アクティブ・ラーニングの実践、新たな教育のスタイル 等
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ
学びとしごとの接続 等
4. 地域と協働して活躍する人を育てる
地域リーダーの養成、生涯にわたる学びの推進 等
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる
いじめ・不登校対策、インクルーシブ教育 等

もっと良くするために

奈良県教育が目指す方向は、まず「本人のための教育」であることです。
一人ひとりの「学ぶ力」「生きる力」をはぐくむ本人のための教育を行います。

「学ぶ力」をはぐくむ

「生きる力」をはぐくむ



基本方針に沿って、具体的な教育施策を実施します。

○奈良県総合教育会議を開催し、知事と教育委員会が教育に関する協議を行います。

○奈良県教育サミットを開催し、県と市町村が協働して教育施策を推進します。



奈良県教育サミット

令和3年度予算案 5百万円

R3予算案 4,826千円

第2期奈良県教育振興大綱 (R3～R6)

大綱の概要

○ 奈良県教育の目指すべき方向性 「学ぶ力」「生きる力」をはぐくむ本人のための教育

○ 5つのテーマごとの目指す方向・施策の方針

1. ことごとと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ

就学前教育、ことごとと身体のはぐくみ 等

2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ

アクティブ・ラーニングの実践、新たな教育のスタイル 等

3. 働く意欲と働く力をはぐくむ

学びとしごとの接続 等

4. 地域と協働して活躍する人を育てる

地域リーダーの養成、生涯にわたる学びの推進 等

5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる

いじめ・不登校対策、インクルーシブ教育 等

教育の振興に関連する総合的な施策を推進

○ 奈良県総合教育会議、奈良県教育サミットの開催

○ **新** 奈良県教育振興大綱の進捗状況の分析・効果の検証

<問い合わせ先>

文化・教育・くらし創造部 教育政策研究室 山口室長補佐(内線2576)